

メディア 下野新聞 (宇都宮)
掲載日 2010年6月23日 (水)
発行部数 322,300

赤、青、黄など…カラフルに

モダン乱敷き畳が評価

宇都宮の石川さん

畳ドクターの全国選手権で最優秀賞に選ばれた石川さん



宇都宮市中央2丁目の石川畳店社長石川敬一さん(48)は、斬新な畳施工に取り組む職人を表彰する「第1回畳ドクター匠の技全国選手権」(全国畳産業振興会主催)で最優秀賞を受賞した。

(根津知広)

全国選手権で最優秀賞

「第1回畳ドクター匠の技」

石川さんは4年ほど前から、半畳と1畳の赤、青、黄などカラフルな畳を組み合わせた「モダン乱敷き畳」に取り組んでいる。畳表は従来のも草だけではなく、和紙やポリプロピレンを編み込んだ製品も導入している。デザイン性に優れた畳の新市場開拓につながる点が評価された。

同振興会は2009年、職歴10年以上の畳職人を対象とした「畳ドクター認定制度」を創設した。全国に約1200人いる畳ドクターから特に優れた職人を表彰するため、今年5月に初の選手権を実施。顧客から推薦を受けた畳ドクター56人を同振興会の役員らが審査した。

同畳店は創業80年。3代目の石川さんは畳需要が落ち込む中、多くの人に畳の部屋を楽しんでもらいたいという思いから「モダン乱敷き畳」を発案。「お客さまに喜んでもらうことを第一に取り組んできた。これからも畳の部屋を残せるよう頑張りたい」と受賞を喜んでいる。